

第7期中播磨地域ビジョン委員会がスタート

平成26年4月、中播磨地域の将来を考え、活動する第7期中播磨地域ビジョン委員会が発足しました。委員は公募で選ばれた81名。幅広い年代が参画しています。これまでの委員会活動を礎に、「希望が育つ中播磨」「安全安心中播磨」「自然豊かな中播磨」「元気交流中播磨」の実現に向けた新しい活動が始まります。

▶平成26年度総会を開催

4月26日(土)姫路総合庁舎職員福利センターで、中播磨地域ビジョン委員会総会を開催しました。

最初に、第7期委員の委嘱状交付式が行われ、代表者の赤松正道さんに北川稔男中播磨県民センター長から兵庫県知事名の委嘱状が手渡されました。続いて、委員長と副委員長3名が選任されました。三村新委員長は挨拶で、ビジョンの実現に向けた活動や地域の魅力発信に地域の人々と一緒に取り組もうと呼びかけました。



三村委員長が第7期委員会の取り組みを説明

▶第7期中播磨地域ビジョン委員会の新役員紹介



委員長 三村晴美

こんにちは、第7期委員長をさせていただくこととなりました三村晴美です。

第5期・6期の5年間、ビジョン委員として活動し、この度初めてこのような大役をさせていただくこととなりました。

今回のビジョン委員の最年少は19歳、最年長は82歳ということで、中間世代となる私は、若い世代の皆様と先輩世代の皆様のパイプ役としての役割を担いたいと思っております。

誰もが暮らしたいと思える理想の地域の姿である「地域ビジョンの実現」に向けて、若い方々からは新しい視点でのアイデアを出してもらい、先輩方のもっていらっしゃる知識・経験と融合させて、その提案を活かした活動をすすめ、中播磨を盛り上げ、さらなる輪を広げ、地域に貢献したいと思っております。

また中播磨の資源として「ロケ地・B級グルメ・祭り」に加えて、地域の魅力や活動、地域で頑張っている様々な部門の産業や人材の発掘も広げていきたいと思っております。

歴代の委員長のご活躍を模範として、2年間の任期、精一杯頑張りたいと思っています。

皆さまのご協力により、より一層素晴らしい元気な中播磨にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



副委員長 木多見哲夫



副委員長 貫名康雄



副委員長 梶原裕司

対談 「鉄の晶～播磨の職人魂～」

中播磨地域の地場産業やものづくりをPRしようと、7月5日(土)市川町文化センターで、対談「鉄の晶～播磨の職人魂～」を開催しました。元気交流中播磨部会・食と産業グループが企画したもので、約100名が鉄人とも言える播磨の職人のお話に耳を傾けました。

対談では、版画家の岩田健三郎氏を聞き手に、佐用町で若き刀匠として活躍されている高見國一氏、市川町の代表的な産業であるアイアンヘッド製作で神の手と呼ばれる熟練した技術を持つ三浦勝弘氏に、ものづくりへの想いを語っていただきました。

高見さんは、高校卒業後刀剣師匠の元で、腕を磨き、生まれ故郷の佐用町で伝統工芸の刀剣、制作に意欲的に取り組み、数々の賞を受賞されています。「日本刀を前にすると背筋がピンと伸びる気がします」と述べられたことが印象に残りました。

一方の三浦さんの技術も国内外から高い評価を得ていますが、鍛造アイアンの製造工程では刀鍛冶の技術を応用していると述べられていました。

両職人とも播磨の地で活躍されていますが、共通してご自身の作品(製品)を「我が子」と呼んでおられました。我が子のように慈しみながら造られている姿が彷彿とされ、職人魂の一端を垣間見たように感じました。

今回の対談を機に播磨のものづくりや、地道に取り組むものづくりの心が多くの人たちに伝わることを希望しています。最後になりましたが、多大なご協力を賜りました市川町、同町商工会、同町観光協会、播但沿線活性化協議会の皆様にあらためて感謝申し上げます。【副委員長・木多見哲夫】



映像で対談者のものづくり技術を紹介



ものづくりへの想いを語る「鉄人」

発掘! 中播磨の地域力

文化や歴史、住民の活動から誕生した中播磨地域の魅力を紹介します。

◆世界に誇るアイアンヘッド

ゴルファーの皆さん、国産のアイアンヘッドが神崎郡市川町で誕生したことをご存じでしょうか。

昭和3年頃、アイアンヘッド製作が市川町の鍛冶工に依頼されたのが始まりです。試行錯誤を重ねた末、刀鍛冶の技術を応用した鍛造製法により完成しました。昭和5年には量産化に成功、現在では地場産業として定着しています。

鍛造製法によるアイアンヘッドは、一般的に打球感が柔らかく、ライ角・ロフト角の微調整もできるため、プロやゴルフファンに根強い人気があります。

市川町のゴルフ関連企業は18社。対談にご協力いただいた、株式会社三浦技研の鍛造ヘッドは、鍛造、刻印、ロフト・ライ角調整、研磨・仕上げの工程を経て出来あがります。ヘッドの一つひとつが職人の手によって製作され、その高い技術は世界のプロも絶賛。製作工程を見るだけでアイアンヘッドに愛着がわき、ゴルフのスコアもアップするような気がします。【副委員長・梶原裕司】

株式会社 三浦技研
<http://www.miuragiken.com>



鍛造製法で造られた株式会社三浦技研のアイアンヘッド



三浦勝弘会長の熱い思いを伺う